

Sample

全体から一部抜粋したサンプルです

ガンマ分析アプリケーション 画面デザインガイド

[1.0]

2025年●月●日

ハーツテクノロジー株式会社

この資料は、Windowsソフトウェア画面の開発用に私たちがデザイン指定を行う際に作成する資料の見本です。

対象は、実際には存在していないソフトウェアです。

なお、実際に作成する資料はこのサンプルの5倍程度のボリュームになります。

本書について

本ガイド (以降「本書」) はガンマ分析アプリケーション (以降「本アプリ」) の画面デザインに際して参照すべき項目を記載しています。ただし、記載しているのは汎用的なデザインの指定のみです。個別の画面に対する指定は行なっていません。

本書の閲覧対象者はアプリケーションの企画・設計者および開発者を想定しており、Windowsソフトウェア開発に対して基本的な知識を有することを前提としています。

適用範囲

本書は、本アプリ全ての画面表示を対象にしています。
ただし、本アプリから呼び出されるWindows OSが提供するダイアログ(ファイルを開くなど)については範疇外とします。

ワーディング

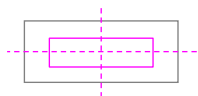
本書には、ワーディングに関する規定は記載していません。
ワーディングデザインに関しては、JISの一般的な規則に従うことを前提にしています。
なお、本書内の解説図や画面例内に使用しているワーディングは仮のものです。

本書の記載形式について

本資料上の説明図、デザイン図はWindows 10でソフトウェアを表示した場合のものです。
WPFにより画面レイアウトを行うことを前提とした指定を行なっています。

位置やサイズ、画像パーツに関する情報は以下の規則で記載しています。

- img* 画像ファイル名は「img*○○○.png」というルールで記載しており、「*」以降がファイル名となります。
 ※「img*」部分はファイル名に含まれません。
 また、特定のファイルを指定できない(バリエーションのある)箇所では「_xxx」という省略形となっています。
- size* 画像のサイズは「size*W○px, H○px」というルールで記載しています。
- =XXpx 余白サイズを表しています。(XXは数値)



点線は、エリア内の中央に配置することを意味しています。 上下中央、左右中央、上下左右中央などがあります。



資料内のアイコン、画像パーツ類には仮のものです。
最終パーツを使用した画面ではないことをご了承ください。

デザインポリシー

本アプリは、以下のポリシーでデザインを行っています。

Windows 10のUIデザインと親和性が高いこと

2019年以降は多くのユーザーがWindows 10環境に移行しています。そのため、画面や各種UI要素の見た目についてはWindows 10と同類にし、ユーザーがWindows 10およびMS Officeとともに本アプリを操作することに違和感を覚えないようにする必要があります。

本アプリを設計する際は、特殊な機能を提供する以外に独自の見慣れないデザインや操作方式は使用しないことをポリシーにします。

Windows 10のUIデザインについては、以下も参照してください。

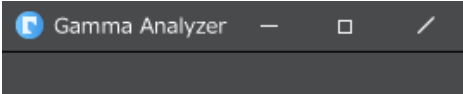
<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/mt634411.aspx>

※Windows 10 UXデザインのダウンロードページ

※2025年現在はWindows11がターゲットです。この資料はWindows10時代に作成されたものです。

デザイン仕様

本アプリは以下の要件によりデザインを行っています。

対象とするOS	Windows 10 以降
ウィンドウ最小サイズ	ソフトウェア上はタイトルバーとステータスバー表示を最小高さとし、幅はアプリケーションアイコンとタイトルに加えてタイトルバーボタンを表示できる状態を最小と想定する。 
ウィンドウ最大サイズ	無制限の想定
操作方式	マウスとキーボード(タッチパネル対応は行わない)
言語	日本語、英語 (デザインに際しては日本語を優先する)
開発フレームワーク	WPF

なお、デザイン検討(スケッチ作成)は以下で行っています。

OS	Windows 10
ウィンドウサイズ	基本画面：W1366px, H728px(ウィンドウ枠線含まず) ※基本画面のスケッチサイズは、FWXGA(W1366px, H768px)のWindows10画面からタスクバーを除いた領域に相当する。

多言語対応

本アプリは多言語対応を想定しています。

デザイン検討は日本語表示で行なっていますが、以下のようにして多言語対応をしています。

文字領域サイズにレイアウトが追従して変化しない箇所(固定レイアウト)は、日本語に対して文字領域を広めに確保します。

本アプリデザインにおいては、以下により固定レイアウト要素のサイズを決めています。

文字表示領域の多国語対応	日本語文字幅に対して140%以上を多言語文字幅として想定し、領域幅を確保する
--------------	--

翻訳結果により文字量が異なるため一律にはできませんが、一般的に140%の確保が通説です。

以下は日英の文字幅見本です。

初期設定	日本語:英語 170%
Initial settings	

削除	日本語:英語 150%
Delete	

保存	日本語:英語 120%
Save	

アクセシビリティ

Microsoftのガイドライン(<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/bb545462.aspx>)に準拠します。
各種障害への対応は以下を本アプリの指針とします。

視覚障害	意味を伝えるときに、色だけに頼らないこと。色は、テキスト、デザイン、場所、またはサウンドの意味を補強する手段としてのみ使用することが望ましい。 音声読み上げ機能に対応するため、文字を併記せずアイコン等のグラフィック表示のみの要素については必ず「ヒント」を組込むこと。
聴覚障害	特段の配慮は行わなくてよい。
四肢障害	特段の配慮は行わなくてよい。
知的障害	特段の配慮は行わなくてよい。
発作障害	光ったり点滅するテキストやオブジェクト、その他の 2 ～ 55 Hz の周波数範囲で光ったり点滅する表示を行ってはならない。 アニメーションを使用する際は、注目させる対象がユーザーの操作を中断するに値するものであること。 ユーザーによっては、特に視野周辺部の画面の動きに対してかなり敏感になることに留意すること。

アクセシビリティ

表示要素の色については以下に従ってデザインを行なっています。

文字と背景色のコントラスト	JIS X8341-3(W3C-WCAG2.0)の等級AAを達成します。 そのため、全ての文字が4.5:1以上のコントラストで表示できるようにします。 ※本アプリには「大きい文字」に相当する表示は存在しない前提です。 ※非活性等の特殊な表示は含みません。
カラーバリアフリー	P型およびD型にも配慮した表示とします。 ただし、グラフや波形についてはカラーバリアフリー対象とはしません。

スタイルの基本方針

基本画面系ウィンドウとダイアログでは異なるスタイルを適用します。

ダイアログはWindowsの標準的な表示スタイルを適用しますが、基本画面系は本アプリ独自の表示スタイルを適用します。

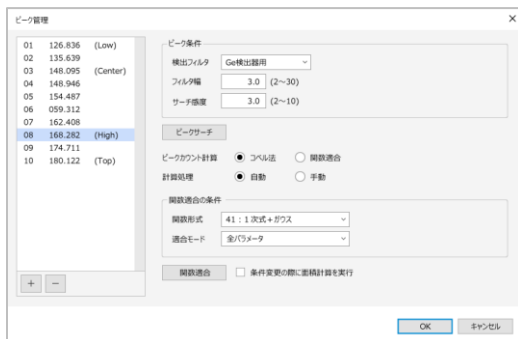
両者は大きく異なるスタイルであり、基本画面系は独自の設計・デザイン・開発が必要になります。



1-1. 基本画面(独自スタイル)

基本画面は、本アプリ独自の「ダーク基調スタイル」を適用します。

ボタンやスクロールバー等のコントロールパーツに独自カラーを本資料の指定に基づいて当てはめて開発します。



1-2. ダイアログ(Windows標準スタイル)

OSが提供する標準的なスタイルを適用することで、ユーザーによる表示設定変更に応じて見た目に変更されたり、OSのアップデートにより表示の不具合が発生しにくくなります。
※上記理由によりWindows標準スタイルを真似て独自の部品開発は行わないことを推奨します。

1-1. 基本画面レイアウト

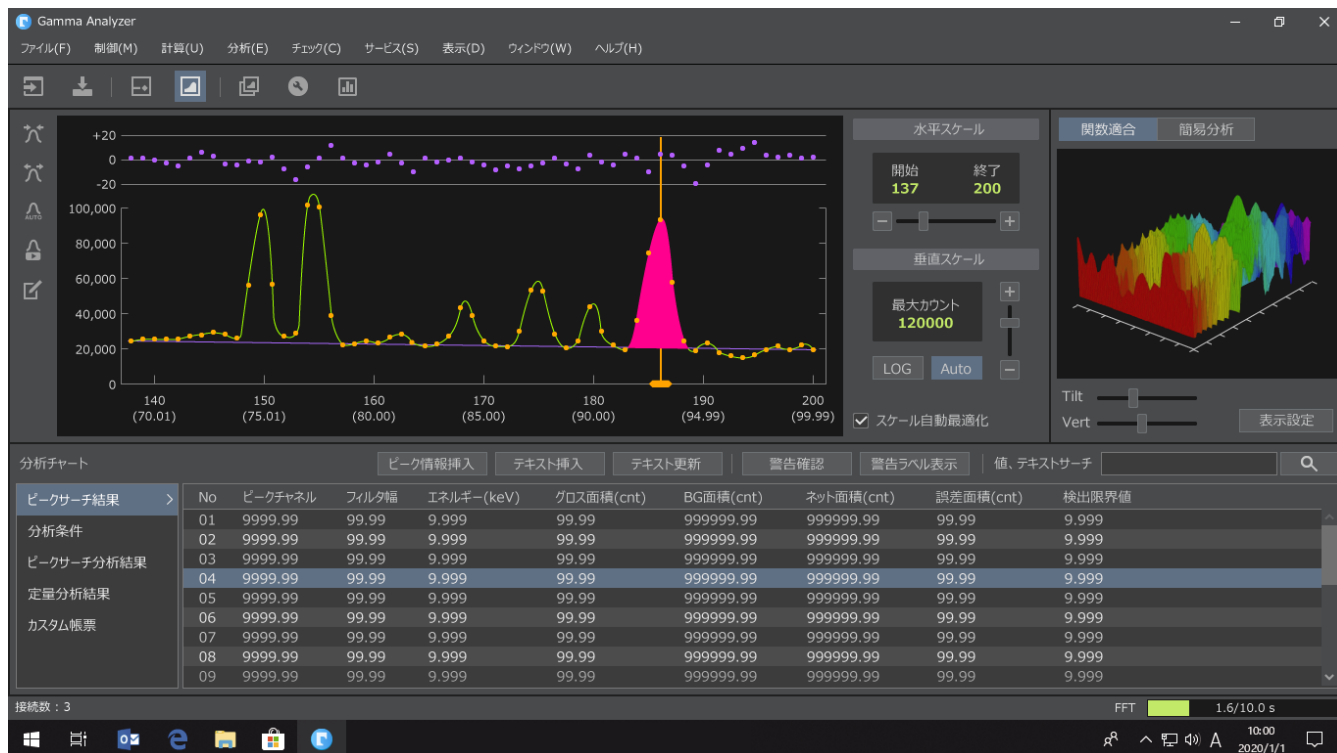
文字

基本画面は以下を標準として適用します。
明確な理由を持つ場合は例外も存在します。

フォントタイプ	日本語環境	Meiryo UI
	英語環境	Segoe UI
フォントサイズ	10pt	
フォントスタイル	ノーマルを標準とする。太字は特に強調する場合にのみ使用する。 斜体や下線、打ち消し線は基本的に使用しない。	
フォントカラー	白 (#e8e8e8)	完全な白(#ffffff)だと文字が暗背景に対して目立ちすぎるため若干暗くする。
	やや暗い白 (#d8d8d8)	ラベルは「白(#e8e8e8)」と差別化するために「白」に対して若干暗くする。
	黒 (#202020)	完全な黒(#000000)だと文字が白背景に対して目立ちすぎるため若干暗くする。
	白の非活性 (#50e8e8e8)	白文字色の約30%不透明
	黒の非活性 (#50202020)	黒文字色の約30%不透明

独自のダークスタイル

基本画面系はWindowsの標準スタイルを使用せず、本アプリ独自のスタイルを適用します。
ダークグレー基調の背景色を全面に使用しします。
ボタンなど各種のコントロールやUIコンポーネントも独自の見た目になります。



基本背景色








このダークスタイル背景色の基本となるのは、#484a4c(72.74.76)です。
この色は完全なグレーではなく、ごくわずかに青みがかったグレーです。

使用する色











適用する基本色です。

以下の色を使って、個別パーツにも展開していきます。

画面背景系

	基本背景 #404244
	基本背景区切線 #000000
	グラフウィンドウ背景 #181818
	リスト背景(奇数行) #3c3e40
	リスト背景(偶数行) #4c4e50
	リストウィンドウ枠線 #787a7c
	リストタイトル背景 #404244

操作要素系

	操作パーツ背景 #585a5c
	操作パーツ枠線 #707274
	操作パーツ背景 (mouseOver) #606264
	操作パーツ背景 (mouseDown) #404244
	Inputボックス背景 #3c3e40
	スクロールバーグラブ背景 #707274
	ツールバー背景 #404244
	ツールバー背景 (mouseOver) #606264
	ツールバー背景 (mouseDown) #181a1c
	ツールアイコン #a0a2a4

状態系

	リストや項目の選択中 #607084
	重要な数値等のアクセント #c3e968
	異常・危険 #ff0080
	正常表現 #60a0ff
	注意喚起 #ffb400
	ブランド表現 #70c8ff - #3c98e8

構成

基本画面は以下のブロックにより構成されます。

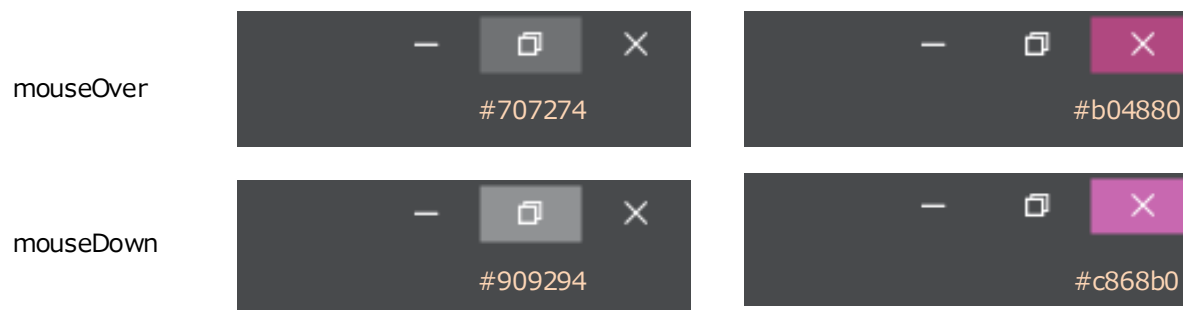


タイトルバーとメニューバー

タイトルバーとメニューバーはWindows OSの標準パーツを使用して、カラー設定のみカスタマイズします。

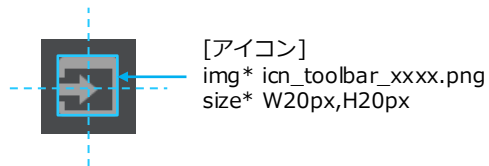
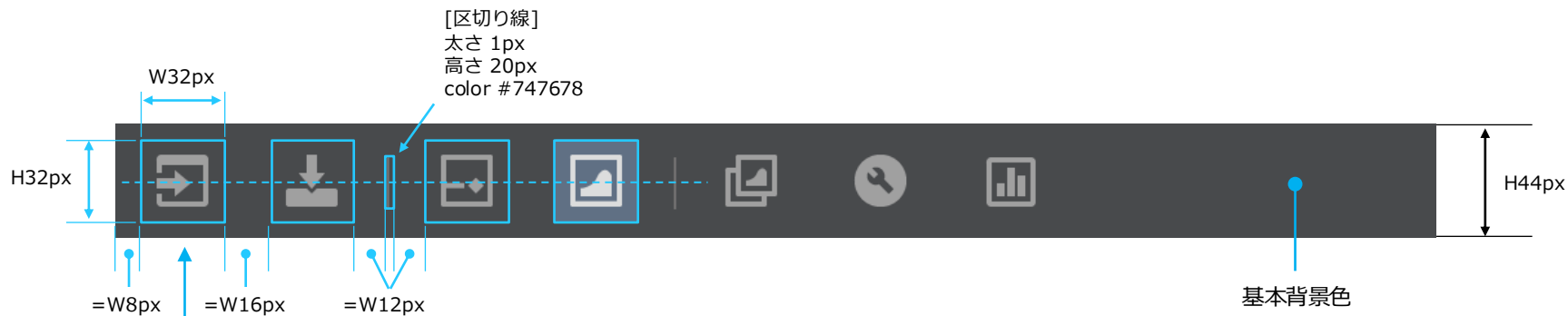


[右上ボタンの状態変化]



ツールバー

ツールバーは、OSのコンポーネントではなく、独自開発します。



[ボタンの状態変化]



[通常]
ボタンcolor ツールバー 背景と同色
アイコンcolor #a0a2a4



[MouseOver]
ボタンcolor #5a5c5e
アイコンcolor #a0a2a4



[MouseDown]
ボタンcolor #6c6e70
アイコンcolor #a0a2a4



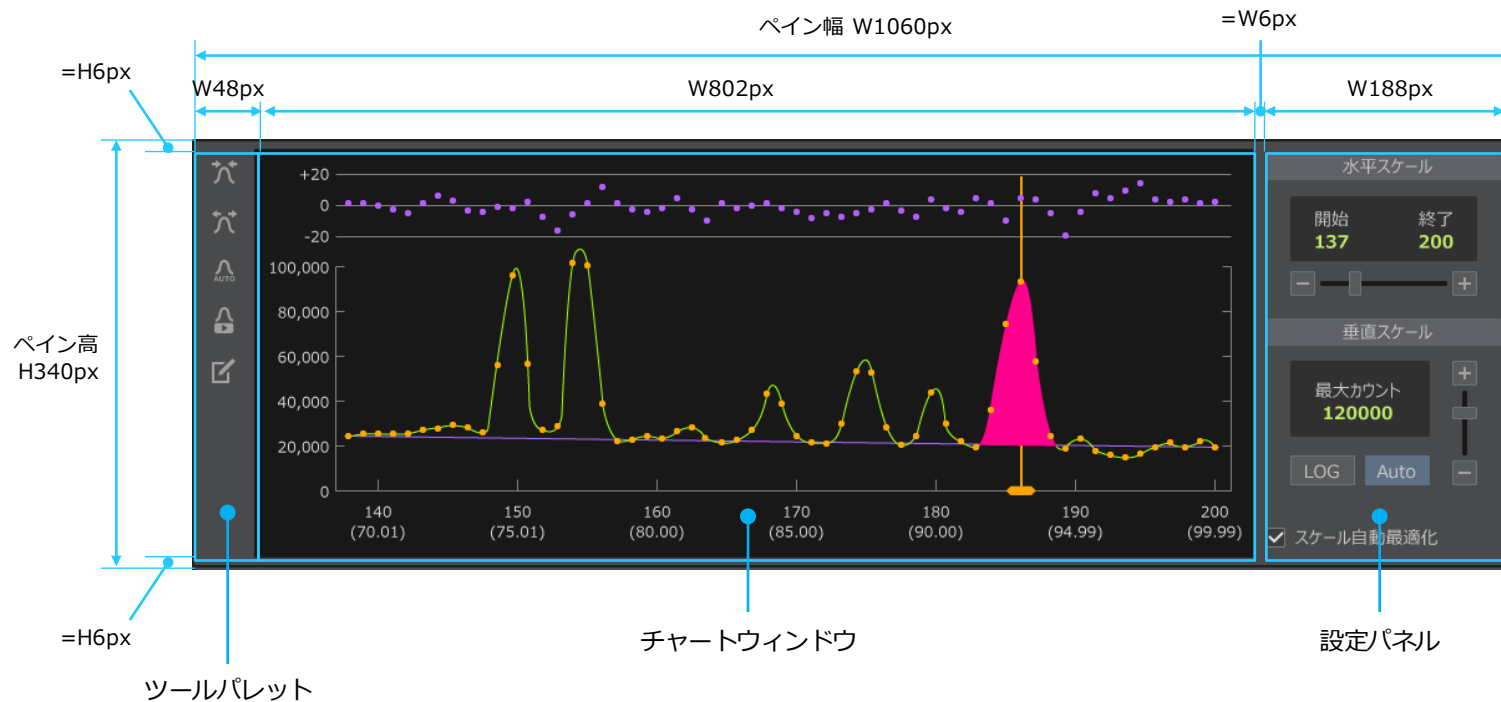
[ON状態]
ボタンcolor #607084
アイコンcolor #dcdee0



[非活性]
ボタンcolor ツールバー 背景と同色
アイコンcolor #4ca0a2a4 (30%不透明)

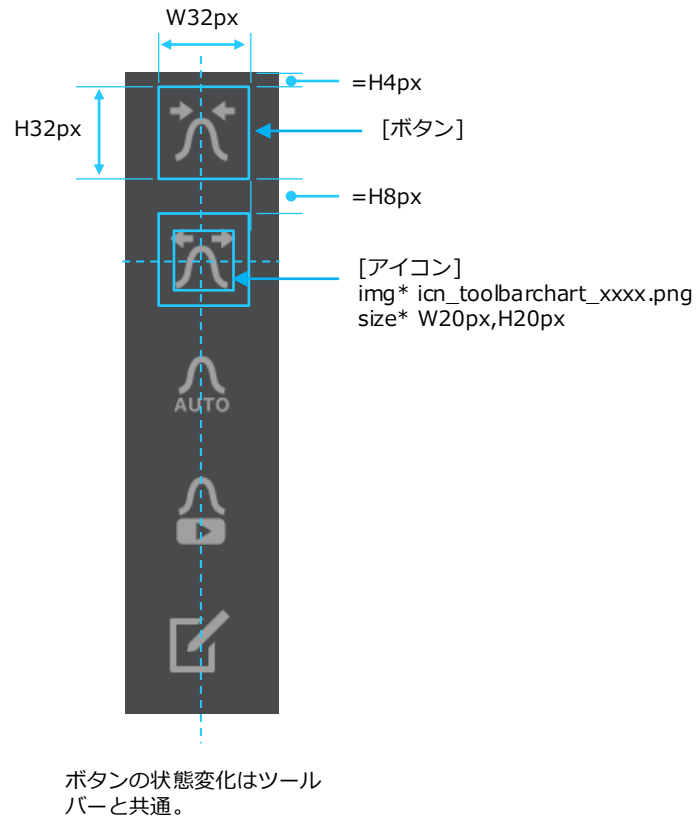
分布チャートペイン

このペインサイズは固定です。ウィンドウサイズの変化に対応した拡張は行いません。
ペイン内は以下の3ブロックで構成されます。



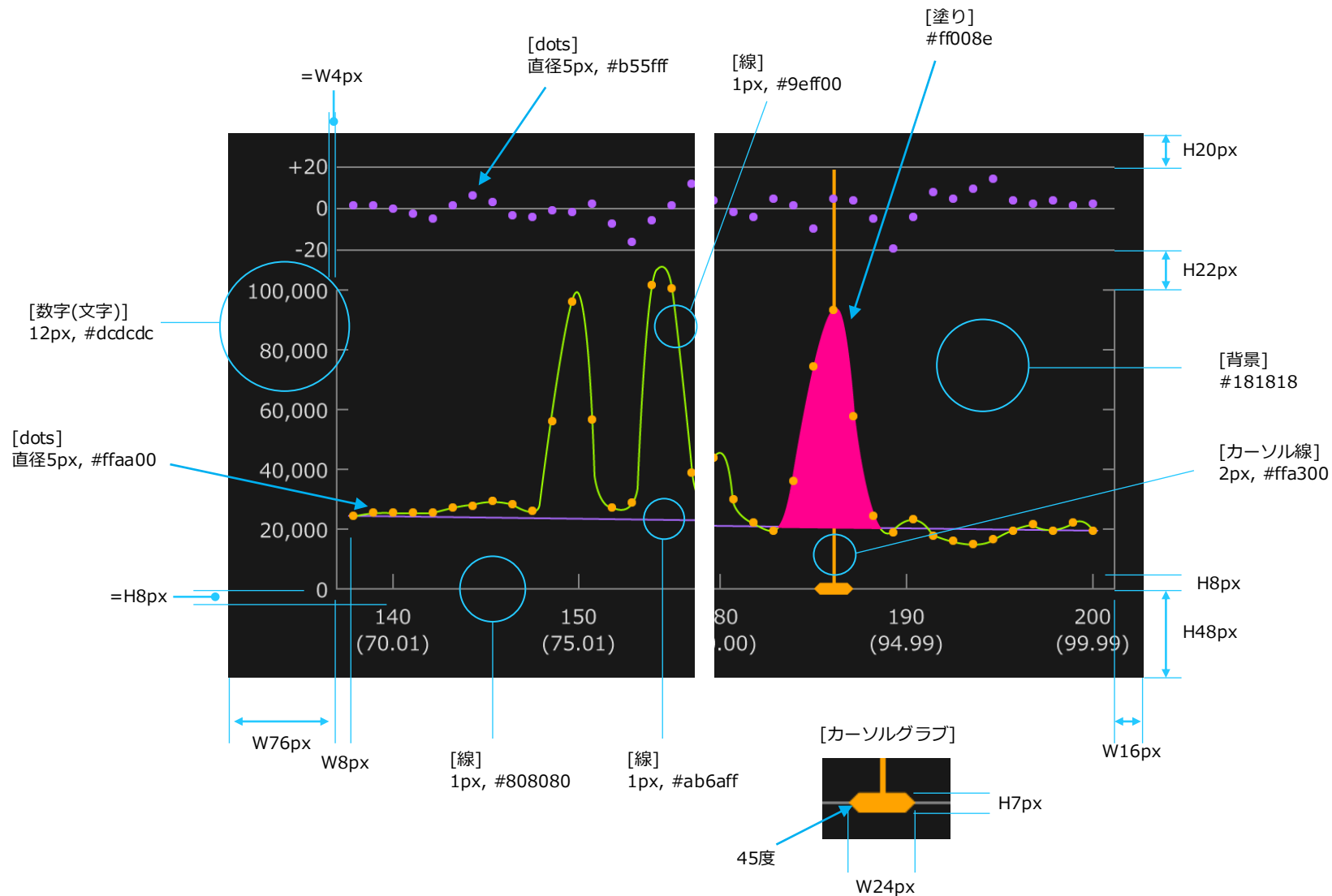
分布チャートペイン

ルパレットブロック内のレイアウトです。



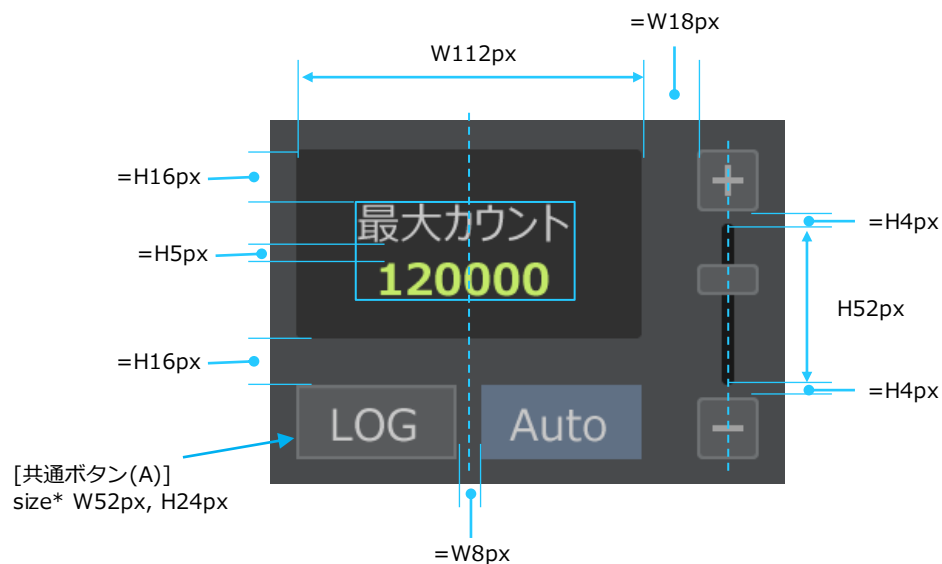
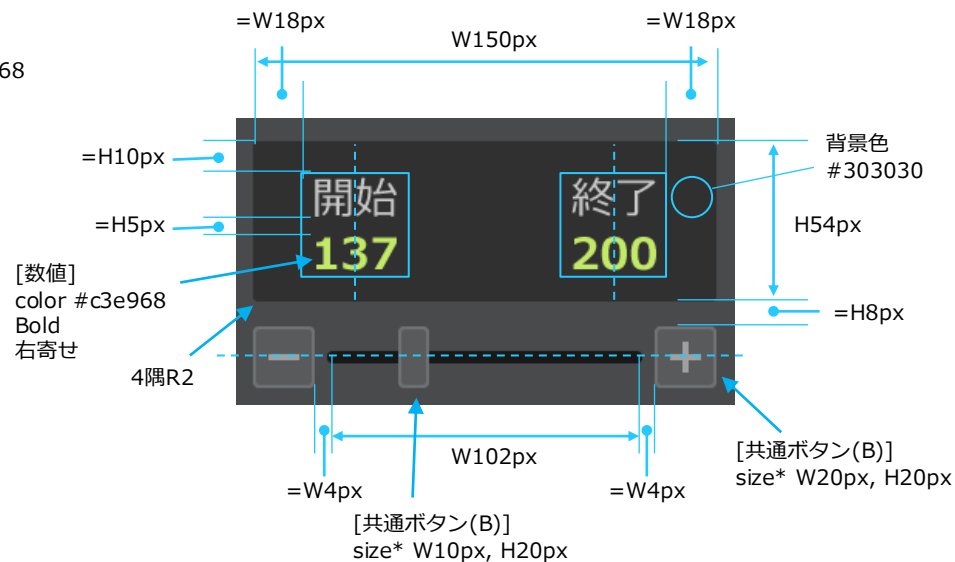
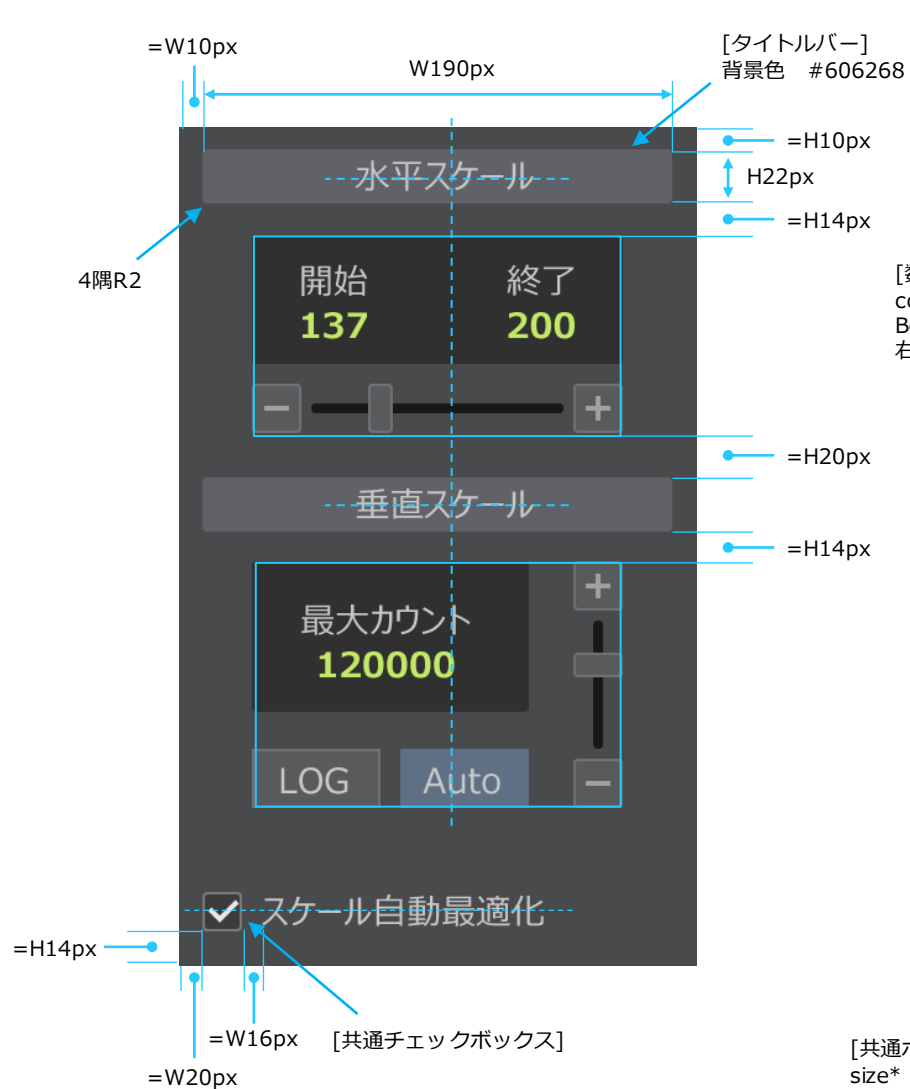
分布チャートペイン

チャートウィンドウブロック内のレイアウトです。



分布チャートペイン

設定パネルブロック内のレイアウトです。



見本資料のため以降省略

履歷

2025/MM/DD (1.0版) 初版